

●例題7 加法

教科書p.15~18

次の計算をしなさい。

(1)  $(+3)+(+6)$

(2)  $(-6)+(-2)$

(3)  $(+7)+(-3)$

(4)  $(-9)+(+4)$

(How) 絶対値形に近づけるために、( )を外す。

( )を外すルール。

$\frac{+(+0)}{+}$

$\frac{+(-0)}{-}$

$(+0)$

$\frac{-(+0)}{-}$

$\frac{-(-0)}{+}$

$(-0)$

↑  
∴には+か+か-2.子

同符号 ⇒ +  
異符号 ⇒ -

3  
↑  
+3  
↑  
+3

(1) 外した後は、ミスを防ぐため。  
+0を前、-0をうしろにする

$+0 + \Delta$   
 $= + (0 + \Delta)$

2つの数が+と+なら  
符号は+。  
2つの数をたす。

$-0 - \Delta$   
 $= - (0 + \Delta)$

2つの数が-と-なら  
符号は-  
2つの数をたす。

$+ \ominus - \Delta$   
 $= + (\ominus - \Delta)$

2つの数が+と-なら。  
符号は、絶対値の大きいほう。  
数字は、大きい数-小さい数。

$+ \ominus - \Delta$   
 $= - (\Delta - \ominus)$

絶対値

(1)  $(+3)+(+6)$  ( )を  
 $= +3 + 6$  ← 外す。  
 $= + (3+6)$  ← +と+ ⇒ 符号は+  
 $= + 9$  数字はたす。

(2)  $(-6)+(-2)$  ( )を  
 $= -6 - 2$  ← 外す。  
 $= - (6+2)$  ← -と- ⇒ 符号は-  
 $= - 8$  数字はたす。

(3)  $(+7)+(-3)$  ( )を  
 $= +7 - 3$  ← 外す。  
 $= + (7-3)$  ← +と- ⇒ 符号は7と3から7の+。  
 $= + 4$  数字は②-①だから7-3

(4)  $(-9)+(+4)$  ( )を  
 $= -9 + 4$  ← 外す。  
 $= +4 - 9$  ← +0を前、-0をうしろ  
 $= - (9-4)$  ← +と- ⇒ 符号は4と9だから9の-  
 $= - 5$  数字は②-①だから9-4

\*        のように、計算したときは、その中心あたりに結果をかき、  
間があってもOK。

\*  $+4-9$  の、大きい数大きいと答はマイナスと考える。